

「芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する検討会議」

第1回 会議要旨

1 日 時 令和3年8月5日（木） 13：30～15：20

2 場 所 ピュアリティまきび 2階孔雀（岡山市北区下石井）

3 出席者 岡山県 県民生活部長  
広島県 地域政策局長  
新見市 副市長  
庄原市 事務担当副市長  
J R 西日本 岡山支社 副支社長  
〃 広島支社 副支社長

※各団体の実務担当部署から、所属長及び担当者が同席

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、広島県、庄原市、J R 西日本  
広島支社は、Web会議システムによるリモート出席

4 内容

- (1) オリエンテーション
- (2) 各構成員による発表
  - ① J R 西日本
  - ② 広島県
  - ③ 庄原市
  - ④ 岡山県、新見市
- (3) 意見交換
- (4) 岡山県、新見市

5 意見交換要旨

○ J R

- ・芸備線沿線地域の皆様にご利用いただくことを目指して、利用促進を行いたい。
- ・広島県から「何らかの目標を持って取り組んではどうか」との提案があったが、重要なことだと思う。
- ・この会議では、新見市・庄原市エリアの利用促進について検討したい。

○ 広島県

- ・地域内の利用促進と併せて、地域外からの交流人口を増やすことも重要である。
- ・どういった目標を設定するか、これからよく話し合いながら決めていきたい。
- ・検討区間について、新見市・庄原市の利用促進が主要なテーマではあるが、本県としては路線全体の利用促進にも取り組んでいきたい。

○庄原市

- ・備後庄原の駅舎でバスとの連携を実施したところ、市民の利用が増えた。引き続き、JRと、バス・タクシー等の二次交通の連携を進めていきたい。
- ・芸備線の運行ダイヤを見直していただきたい。
- ・利用促進を進めていくにあたっては、コロナ収束後も含め、取組の期間をしっかりと確保して評価する必要がある。

○新見市

- ・利用促進のためには、地域住民に日常的に使っていただくことが重要である。
- ・鉄道と、二次交通である市営バスの接続がよくないので、改善に取り組みたい。

○岡山県

- ・地域住民の利用が重要であるが、交流人口や関係人口についても幅広く見ていく必要がある。
- ・目標をどのあたりに設定するのか、今後、検討が必要である。
- ・検討区間については、新見市・庄原市の住民以外の利用もあることから、俯瞰的に見る必要がある。

以上